

未来につなげるまちづくりアンケート調査結果【概要版】

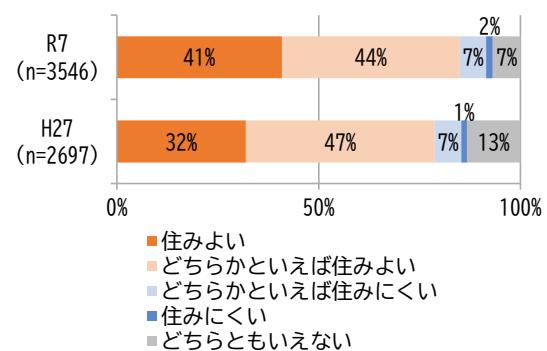
(1) 調査概要

- ・調査対象：白山市在住の15～80歳の方々から無作為抽出した10,000名
- ・調査方法：郵送による配布・回収（Webでの回答も可）
- ・調査期間：令和7年6月30日（月）～7月16日（水）まで（8月18日回収分まで集計）
- ・回収数：3,614通（回収率36.1%） ※うち951通がWeb回答（全回答の26%）

(2) 白山市の住みやすさ

- ・「住みよい」「どちらかといえば住みよい」が合わせて85%を占め、H27と比べその割合が上昇しています。
- ・住みよい理由では「自然環境がよい（50%）」、「災害が少ない（36%）」、「生活環境がよい（31%）」が高い割合を占めています。
- ・住みにくい理由では、「交通の便が悪い（75%）」が最も高く、次いで「商業施設が充実していない（43%）」、「地域のつながりや伝統が煩わしい（23%）」が高い割合を占めています。

▼ 白山市の住みやすさ



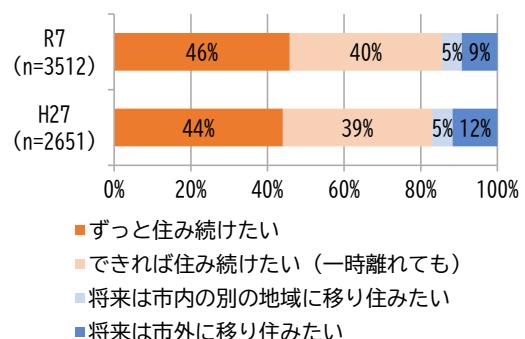
▼ 白山市の住みよい理由、住みにくい理由（上位5位：複数回答）

	住みよい理由	住みにくい理由
1	自然環境がよい (50%)	交通の便が悪い (75%)
2	災害が少ない (36%)	商業施設が充実していない (43%)
3	生活環境がよい（騒音や振動などがない） (31%)	地域のつながりや伝統が煩わしい (23%)
4	商業施設が充実している (29%)	公共施設が充実していない (19%)
5	治安がよい (25%)	働く場所がない (18%)

(3) 白山市での定住意向

- ・「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい（一時離れても）」が合わせて86%を占め、H27に比べ大きな変化はみられません。
- ・将来は市外に移り住みたい理由としては、「交通の便が悪い」、「他の地域にも住んでみたい」などがあげられています。

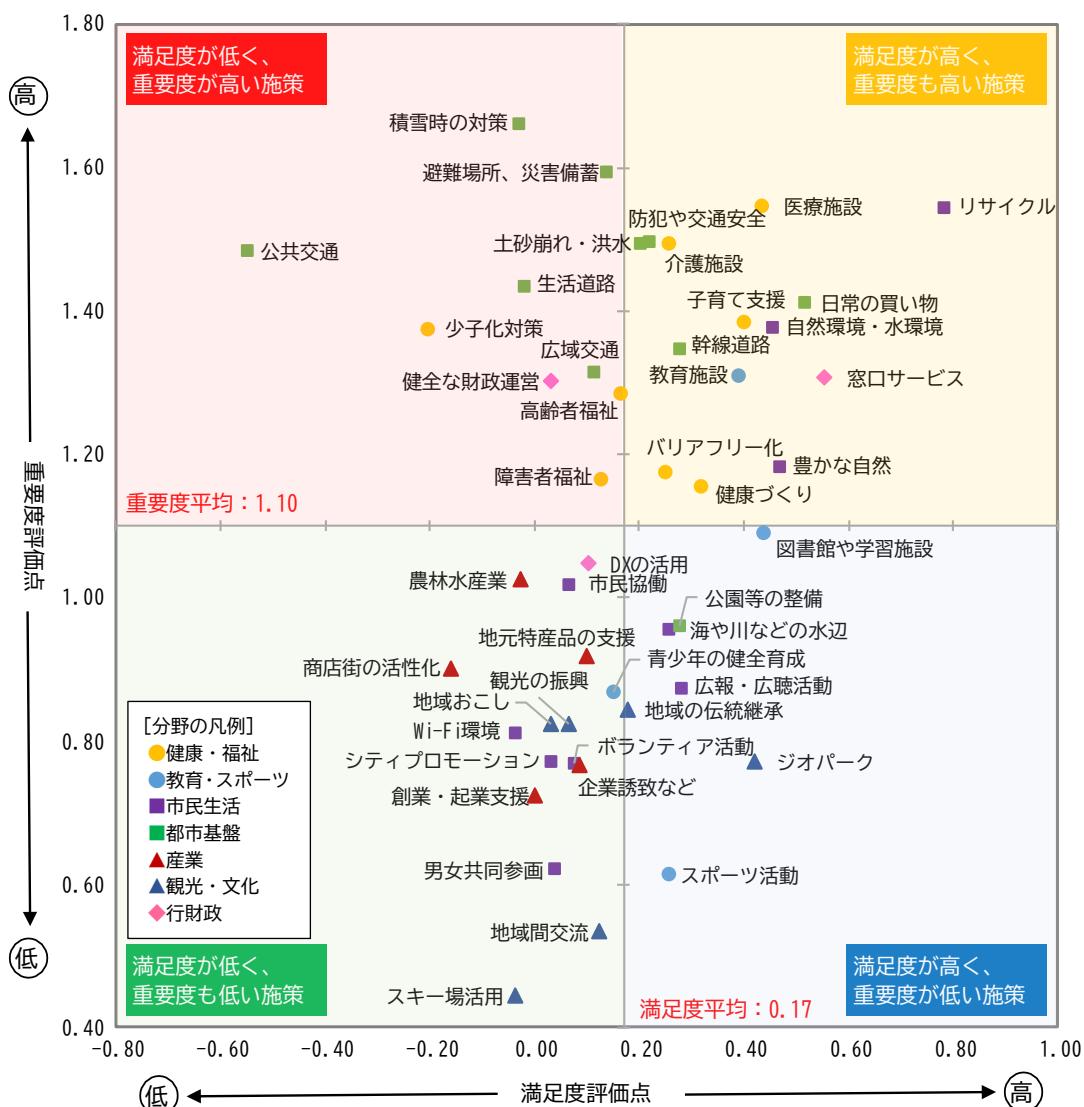
▼ 白山市での定住意向



(4) 行政サービスの満足度・重要度の評価（全46施策）

- ・「ごみ処理、リサイクルなどの環境への取組」「病院、診療所などの医療施設の充実」「日常の買い物の利便性」「市役所の窓口サービス」等は、満足度・重要度ともに高く、必要性や意義、取組状況が市民と共有できていると考えられます。
 - ・一方、「バス、鉄道などの公共交通の利便性」「人口減少・少子化対策に対する取組」「道路の除雪や融雪装置などの積雪時の対策」等については、満足度が低く、重要度が高いため、今後も継続的な取り組みが求められています。
 - ・また、「スキー場活用の取組」「国際交流や地域間交流」「男女共同参画社会への取組」等は、満足度・重要度がともに低調であることから、必要性や考え方について広く周知していくことが必要です。

▼ 施策の満足度・重要度の評価



満足度と重要度は、下記の計算式に基づき点数を与え評価点を算出（無回答は除外）

$$\text{満足度評価点} = \{\text{満足} \times (2 \text{ 点}) + \text{やや満足} \times (1 \text{ 点}) + \text{やや不満} \times (-1 \text{ 点}) \\ + \text{不満} \times (-2 \text{ 点}) + \text{分からない} \times (0 \text{ 点})\} \div \text{回答者数}$$

$$\text{重要度評価点} = \frac{\{\text{重要} \times (2 \text{ 点}) + やや重要} \times (1 \text{ 点}) + \text{あまり重要でない} \times (-1 \text{ 点}) \\ + \text{重要でない} \times (-2 \text{ 点}) + \text{分からない} \times (0 \text{ 点})\}}{\text{回答者数}}$$